



祝祭日には



を掲げましょう



集落支援員
栗田 伸一

集落支援員
菅 一生

令和5年3月をもって、2名の集落支援員が退任します。退任にあたり、活動の振り返りとこれからの展望についてお聞きしました。

ライフワーク

町を元気にする為に、町民の皆さんに健康になっていただく。それが私の役割課題でした。この2年間、得意分野である健康運動やスポーツに関してのノウハウを活かし、健康スポーツに関わるイベントを手段として発信してきました。

集落支援員の魅力は地域住民との距離の近さにあります。まずは31地区の区長さんに顔を覚えていただくことからスタートしてみました。地区公民館巡りをし、町民の皆さんとの距離を縮め、信頼関係の構築に奔走した1年目でした。「モルックやりませんか?」のイベント提案に一番手を挙げてくださったのは田茂沢区長でした。それ以来、田茂沢地区に急激な親近感を抱き、田茂沢地区の動向が気になって仕方ありません。

2年目では、若手の菅さんとチームを組めたことが何よりの新しい刺激と学びになりました。外からの風により、金山町はまだまだ元気になれることを確信したタイミングでもありました。

皆さんもご存じのとおり、スポーツと健康はとても相性が良いものです。スポーツによる町の活性化は、私のライフワークとして退任後も続いていきます。立ち位置が変わってもスポーツとの関わりは変わりませんので、今後も町民のみなさんと一緒に金山町を盛り上げていきたいと考えています。



◁金山町のモルックはこの田茂沢地区から始まったのです

Could be anything

スポーツの場を中心に皆さんと共に活動し、あっという間の1年が過ぎました。チャレンジしたいアイデアを提案すると、快く受け入れ協力して下さる環境があり、恵まれすぎている充実した時間を過ごすことができていたのだと強く感じます。「どんな運動を準備したら楽しんでくれるかな」と、皆さんの笑い声で溢れた会場をいつもイメージしながら、お会いできる機会を心待ちにしていた日々でもありました。これまで取り組んだ活動全てにおいて、皆さんの参加や協力がなければ成り立たないイベントだらけです。皆さんがいてくれたからこそ叶えられたことばかりでした。本当にありがとうございます。

町内の行く先々で感じる、ずーっと大切にされてきた「かねやま色」をした「もの・景色・人・情」。ここにしかない、ここでしか感じられない、誇らしい色に包まれて過ごすことができました。皆さんと同じ色、とまではいかなくとも同系色くらいには染まっていて、それが次の私が進むステージの中で混ざり合い、私にしかない色となりそのベースには「かねやま色」が常にある事を誇りに思います。



▷思い出の放課後アクティブスクール

編集後記

▼広報係を離れることになりました。思い返せば3年前。コロナで予定が二転三転。イベントは中止続きで原稿は真っ白…。初めて手掛けた広報の発行日は胃が痛くて、私で務まるのかと不安なスタートでした。そんな私が3年間で36号もの広報を無事に発行することができたのも、優しく声を掛けてくれて、快く取材に応じてくれた皆さんのおかげです。広報担当にならなければ気が付かなかった、町の魅力や皆さんの優しさに触れることができた貴重な時間でした。本当にありがとうございました。

金山町の人口は、4,980人 (2月末現在)

男性	2,451人 (0)
女性	2,529人 (+2)
世帯数	1,713世帯

▼2月の異動

出生	2人
死亡	6人
転入	12人
転出	6人